

- 自分も人も大事にする子ども（心あたたかい子）
- 目標に向かって粘り強く行動する子ども（たくましい子）
- ◎ 主体的に学ぶ子ども（前向きで、よく考える子）



令和7年3月7日

臨時号

染地小だより

調布市立染地小学校 校長 八木橋 小百合

<https://www.chofu-schools.jp/somechi-sho>

電話 042-485-1285 FAX 042-499-4181

令和6年度染地小学校の教育活動についてのアンケートまとめ

副校長 川井 弾

保護者のみなさまに、令和6年度の染地小学校の教育活動に関するアンケートを実施いたしました。多くの保護者のみなさまのご回答をいただき、ありがとうございました。

児童対象に実施した「学校生活アンケート」と校内教職員に実施した「学校評価（校内）アンケート」と合わせた集計結果をご報告いたします。

アンケート結果は、令和7年度の教育活動をさらに充実させるために活用してまいります。

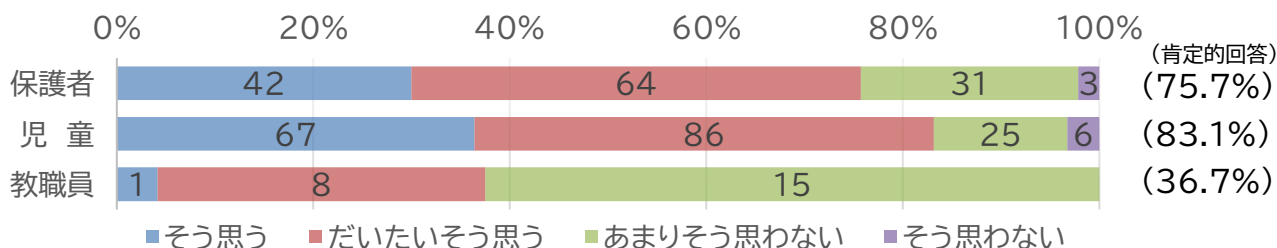
今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

アンケート概要

	実施期間	回答形式	回 答 数 (回答率)
保護者	12月 9日～12月 22日	Google form	140 / 192 (71.4%)
児 童	1月 9日～ 1月 17日	Google form (4～6年生) 質問紙 (1～3年生, たけのこ学級)	185 / 196 (94.3%)
教職員	1月 15日～1月 24日	Google form	24 / 29 (82.7%)

【あいさつについて】

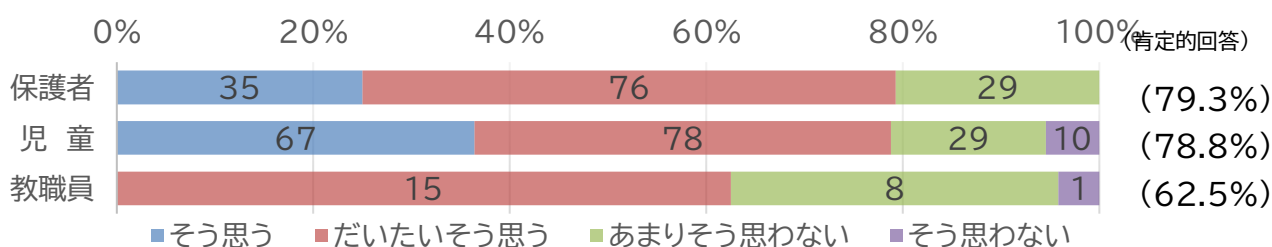
お子さんは、あいさつをする習慣が身に付いていますか。



保護者、児童ともにあいさつについて7割以上が肯定的にとらえています。一方、教職員においては約4割が肯定的にとらえています。教職員にとっての「望ましいあいさつ（相手の目を見てあいさつをする。元気な声であいさつをする。時間と場所に応じて適した挨拶をする）」について児童が意識的に取組めるよう、指導に努めていきます。

【言葉遣いについて】

お子さんは、相手や場所に応じた言葉遣いが身に付いていますか。

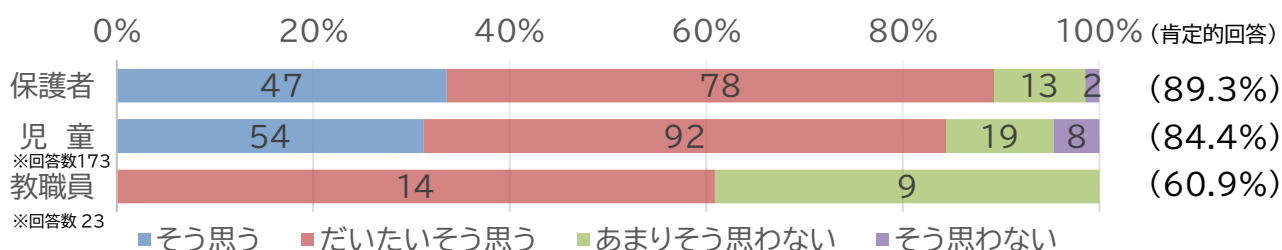


保護者、児童ともに約8割が肯定的にとらえられています。一方、教職員は6割程度が肯定的にとらえていますが「そう思う」については、0%でした。家族に対して、友達に対して、先輩（後輩）それぞれに応じた言葉づかいや、授業中と放課後などの遊びの場面など、友だちの呼び方にも場に応じること、相手を気遣った言葉を選んで、話をしていくことが大切であることの指導を続けていきます。

【学力の定着について】

お子さんは、現在の学年までの学習が身に付いていますか。〔通常の学級〕

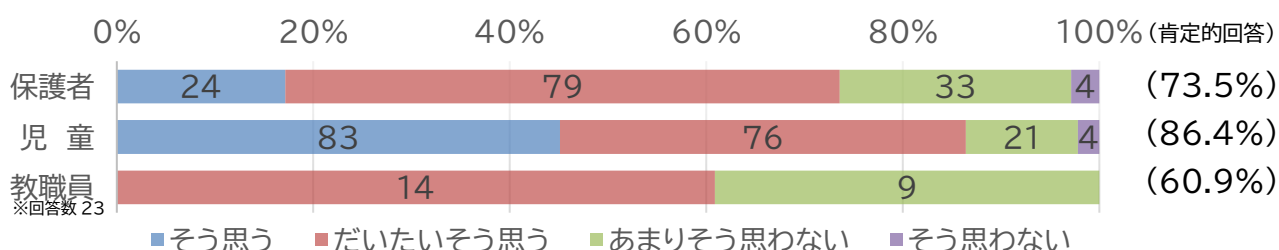
お子さんは、個別指導計画に記載のねらいに沿った学習が身に付いていますか。〔特別支援学級〕



保護者、児童ともに約8割が肯定的にとらえているのがわかります。一方、教職員は6割程度が肯定的にとらえていますが「そう思う」「そう思わない」については0%でした。年間を通して、授業で学んだこと、できることが増えたことが実感できるよう、「学びの目的」を明確にし、どこまで学ぶことができた。身に付いた。という頑張りを認めていきます。

【食育への関心について】

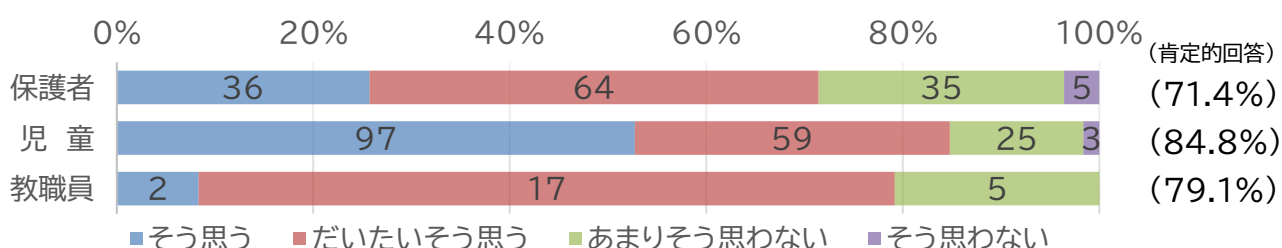
お子さんは、基本的な食事のマナーが身に付いていますか。



児童8割以上は「食事のマナー」に対して肯定的（できている）と評価していますが、保護者は7割、教職員は6割程度にとどまっています。学校では「食器の扱い」や「しよくじゅうの適した会話」などを指導していきます。また、「食物アレルギー」についての指導も全校で取り組み、食に対する正しい知識と意識が身に付くよう、指導をしていきます。

【健康への意識について】

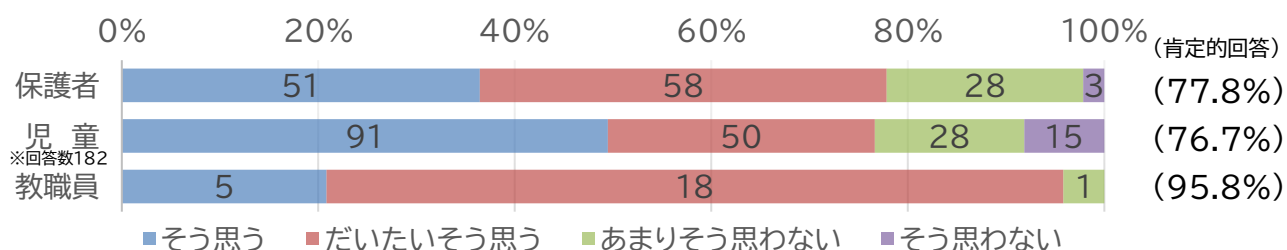
お子さんは、自身の健康について関心をもって過ごしていますか。



児童の5割以上が「健康に関心をもっている」と回答しています。一方で保護者、教職員ともに児童の健康についてもっと関心をもってもらいたいという傾向が読み取れます。学校では、各学期の初めに保健指導を行ったり、足育についての指導を行ったりして、健康に対する関心を高められるような取組を今後も進めていきます。

【運動習慣について】

お子さんは、日頃より身体を動かす習慣が身に付いていますか。

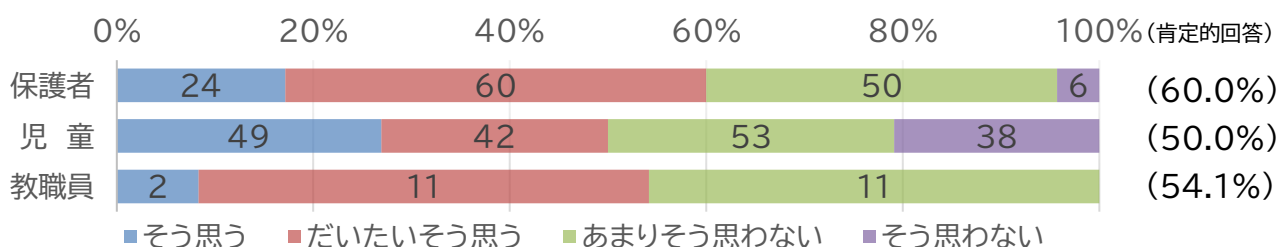


運動習慣について、保護者、児童の約8割が肯定的な評価を示しています。学校として次年度も、年間を通した体育科の授業の充実、その他「短なわ旬間」や「持久走月間」、「リトミックタイム」など、運動に親しむための取組を進めてまいります。

【通常の学級と特別支援学級との交流について】

お子さんは、たけのこ学級の友達と、仲良く交流していますか。〔通常の学級〕

お子さんは、通常の学級の友達と、仲良く交流していますか。〔特別支援学級〕

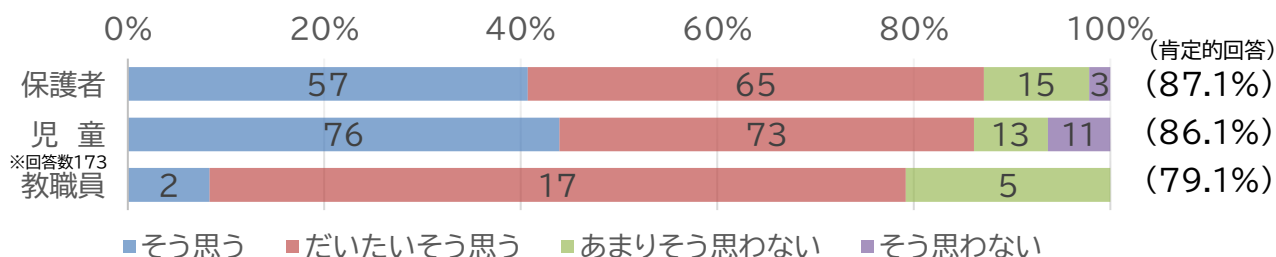


通常の学級と特別支援学級との交流について、他の設問に比べ保護者、児童、教職員ともに肯定的評価が低く、本校の大きな課題であると感じています。年間を通して「運動会」での交流や各学期に行われる「交流集会」を進め、通常の学級の児童に「特別支援理解教育」を行っていきます。また、教職員も子ども一人一人の支援の方策について理解を深め、「全教職員で全員を育てる学校」を目指していきます。

【個人に応じた指導，少人数編成による指導】

お子さんは，少人数で算数を学習するなどして，個人に応じた指導で学習に取り組み，基礎学力が付いてきていると思いますか。〔通常の学級〕

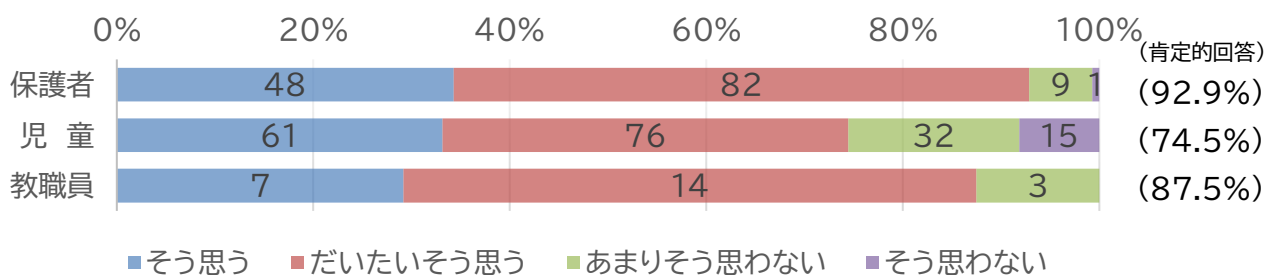
お子さんは，個人に応じた指導で学習に取り組み，基礎的な学ぶ力が付いてきていると思いますか。〔特別支援学級〕



少人数指導をはじめとした個人に応じた指導に関して保護者，児童の8割以上が肯定的な評価を示しています。次年度も算数少人数指導をはじめ，各教科においても学習のめあてに向けて，児童一人一人に目標と進め方などを決定し取り組む「自由進度学習」を進めていきます。

【教育活動の情報発信について】

「学校だより」や「学年だより」，ホームページなどで学校の様子などが伝わっていますか。



本校の教育活動について，学校だよりや学校ホームページ，すぐーる，学年だよりなどで発信してきましたが，保護者の9割が情報発信について肯定的な評価をいただきました。次年度も，「学校の今」が分かるよう，積極的な情報発信に努めます。

今回，学校生活アンケートの最後に「みんなで子どもを育てる学校」を目指し，さらに染地小学校の教育が，みんなの協力で良くなる取組や要望をお聞きました。

「少人数のよさを生かし，一つひとつ丁寧に指導している今の雰囲気これから期待しています。」「教科担任制に先駆けて，給食や副教科の先生方のローテーションはとてもいいと思いました。いろいろな先生方といろいろな関わり方や刺激を経験させていただけることも，様々な角度から子どもの個性や成長過程を見てもらえることもありがたいです。」といった意見や「保護者有志やボランティアによる絵本の読み聞かせなど，様々な場面でサポートの要請があれば，喜んで参加させて頂きたい。」といったご意見をいただきました。

他にも，近隣マンションの建設に伴う児童数の増加や，インクルーシブ教育についてのご意見もいただき，次年度以降の学校の取組の参考にもすることができました。

また，コロナ禍以前の学校行事の復活を希望する声，たて割り班活動の活性化を求める声，現在紙媒体でお配りしているお知らせのデータ配信化等，様々なご提案もいただきました。いずれも，次年度の教育活動への参考にしてまいります。

みなさまのご協力ありがとうございました。